

A14 (桜井中央)

【 額田王の念持仏 】 ～ 粟原流れ
石位寺伝薬師三尊石佛 白鳳期の石像 ～



忍阪の石位寺には国の重要文化財である「伝薬師三尊石佛」があります。この石仏は砂岩に彫られた白鳳時代のもので、唇や法衣、蓮華座に朱が施されており、非常に優雅ですばらしい三尊仏です。

この石仏はもともと、石位寺より東にあったとされる粟原寺から流れたものとされています。粟原寺のもので唯一残存する「粟原寺三十塔露盤の伏鉢」

(国宝)に記された銘文には比売朝臣額田(額田王)

がこの地に伽藍を建て丈六釈迦仏像を鑄造し金堂に安置したとあります。このことから、この石仏は粟原寺にあった額田王の念持仏であったのではないかとされています。また、石位寺のある忍阪は、額田王の姉の鏡女王のお墓があり、額田王にゆかりの深い土地です。

(桜井市 忍阪)